

「西部地区」マンツーマンディフェンス推進への対応について

埼玉県ミニバスケットボール連盟 西部地区
地区責任者 鈴木 康司
地区推進委員 浜田 智一

「西部地区」としてのマンツーマンディフェンス推進への対応方針

- 1 埼玉県ミニバスケットボール連盟の対応方針に基づき推進していく。
- 2 西部地区で行われる全ての大会(カップ戦・市内大会含む)において、マンツーマンディフェンスを行う。
- 3 各チームは推進の趣旨を十分認識し、マンツーマン推進に取り組んでいく。
- 4 各チームはコミッショナーの運用についても理解を深め、コミッショナーの人材育成に取り組んでいく。
- 5 地区大会(公式戦)においては、原則コミッショナーを設置するが、共通認識と広く浸透を図ることを目的とするため、28年度は地区大会での罰則の適用は行わない。
- 6 マンツーマンディフェンスを行わないチームは、上位大会に推薦しない。

★マンツーマン留意事項

- ☞ マンツーマン推進に取り組んでいくにあたり、JBAホームページ「マンツーマンディフェンスの推進」に必ず目を通してください。関連資料・動画などがすべて掲載されています。
http://www.japanbasketball.jp/players_development
- ☞ マンツーマンディフェンスの基準に関しては「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則るものとする。

★コミッショナー留意事項

- ☞ コミッショナーに関しては、「マンツーマンコミッショナーの設置および競技会(試合)における運用について」に則るものとする。
- ☞ 予選リーグについては、1チーム1レフリー同様に1チーム1コミッショナーで帯同する。
(兼任では大きな負担となるため、レフリーとは別にコミッショナーを育成していくことが望ましい。)指導者だけでなく保護者へも理解を深め、子供達のスキルアップに繋げる取組みであることを理解しチーム内で共通認識を深めて、コミッショナーの人材育成にも取り組んでいってください。
地区決勝トーナメントからは、27年度同様に派遣コミッショナーで対応していきます。
※派遣コミッショナーに関しては、今年度からマンツーマン推進委員会が責任担当となりますが、技術委員会を中心に各委員会の方々とも連携を取りながら進めていきます。
- ☞ 会場責任者は「黄色旗」と「赤旗」を準備してください。(持ち寄りでも可)
併せて「マンツーマンコミッショナーチェック表/報告書」を試合毎に準備する。
※違反行為や報告が必要なことがあれば、推進委員会へ報告書を提出してください。
- ☞ コミッショナー席は試合が見渡せる場所(TO席側が望ましい)とする。
コミッショナーの人数は1名または2名とする。
コミッショナーはレフリーと密に連携を取り、必要に応じてコーチともコミュニケーションを図りながら、円滑に試合を進めるように努める。
- ☞ コミッショナー設置の主な目的は、試合における違反行為を取り締まることではなく、マンツーマンディフェンスに対する理解を推進し、円滑に試合運営を行い、より子供達がバスケットボールを楽しめる環境を構築すること。
体力、技術不足により故意ではない違反行為が発生する可能性もあるため、違反行為の判定にあたっては留意すること。